

分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	上田市	ふりがな箇所名	(国)406号 ^{ごう}		ダバス	事業年度 (完了年度は見込み)	年度～		年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	道路拡幅工 L=900m W=6.5(10.0)m			120,000	国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度									
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	B				2
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある						5
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/> A及びBに該当しない					5
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所でない						4
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない						2
			<input type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)					0
			<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない					4
	他事業との関連	<input type="checkbox"/> 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施			0					
	小計									22
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ現実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされていないが現実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない	B				3
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、着目調整圏実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない					3
		小計								
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	B				5
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 6年以上					0
コスト縮減		<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト縮減はしていない	5					
小計										
緊急性 (20)	安全性の向上	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない	B				6	
	各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路					6	
	小計									
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	C				5	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知	<input type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input checked="" type="checkbox"/> 特に周知していない					0	
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない					4	
	小計									
費用対効果(B/C)		1.8		評価の合計			B	59		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	小中学校の通学路であり、また、夏は大学ラグビーの合宿、冬はスキーと1年を通して観光客も多く歩道が無いため、車道にはみ出で歩行している。さらに、夏は高原野菜の出荷時期と重なり、農耕車や大型貨物車も多く、冬期間は除雪により路肩が通れないため危険度が上がる。								
	地域からの要望経緯	上田市から毎年要望がある。								
	事業説明等の経緯	未実施。								
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。また極力、現道を利用するルートを検討したい。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
	特記事項	市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。								
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 動向不明						
部意見	計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。			行政改革課意見	計画熟度がやや低い。					